

SOTOKU

崇徳学園同窓会
関東支部
会報
— 第31号 —

発行：崇徳学園同窓会関東支部 編集：支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-20

<http://sotokukanto.gl.xrea.com/> [mail:sotoku_kanto@yahoo.co.jp](mailto:sotoku_kanto@yahoo.co.jp)

TEL (03) 3812-1211(代) FAX (03) 3816-1218

ホテル機山館

新しい時代を創造しよう

— 幅広い人材教育の母校をみんなで支援しましょう!! —

崇徳学園同窓会関東支部会長 室崎 宏治 (昭和46年卒)

同窓会のみなさまこんにちは。

今日私達は、予想を超えるテンポで進行する地球の気候変動と大規模な自然災害や地球環境悪化、様々な国際的対立抗争の激化や格差の拡大、さらには昨今の新型コロナウイルスに代表される感染症の拡大など、地球上の人々の生命と健康を脅かす多くの困難な課題に直面しています。今私達は、改めて本学の基本理念に深く思いを致し、これらの地球社会における多元的で困難な諸課題の解決に向けて真摯かつ果敢に挑戦し、着実にその成果を社会に発信していく必要があると思います。

崇徳学園は創立146年を迎えました。男女共学になり3年を経過します。来年度より同窓会にも女性の卒業生が入ってきます。いままでと違った雰囲気が期待されます。

崇徳学園の教育の伝統は、創造的な研究活動の中での実践的教育であり、自らに課題を課し自学自習によりその解決に向け努力することを促すことによって、学生の創造的精神の涵養をはかることにあります。その前提となるのは、確実な科学的知識と幅広い豊かな人間的素養であり、人類が切り開いた叡智を学べる基礎学力をつけ、健全な知的市民としての成長を求めています。創造性の根源は知的好奇心と探求心であり、高度の専門能力を有した人材や次世代を担う創造的研究者が育っていくことを、強く期待しています。

146年の歴史を持つ崇徳学園は、新しい校舎も建設が出来、ハード面で新しく女子学生も入れる体制ができ、2020年4月より特別進学コースから受け入れを始め、2021年度から中学も含め全面的に共学になりました。これからの女性にも多めに期待できることです。又、スポーツも期待できます。

「是直用官闕天、用錐指地也」(莊子 外編 秋水 第17)

【竹の管をのぞいても 天の広大さを知ることはできない】

にならないように銘記しましょう。

また、各面々で活躍されてる人たちの同窓生つながりの場としての役割を果たして行きたいと思います。

次回の機山館での関東支部総会で盛大に盛り上がりましょう。

7月2日(土) 12:00より本郷三丁目に集まろう。

都心に近く、騒音に遠く交通至便の所
優雅・閑静本郷随一の

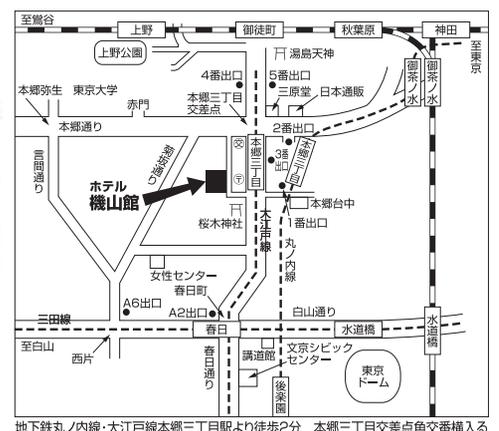
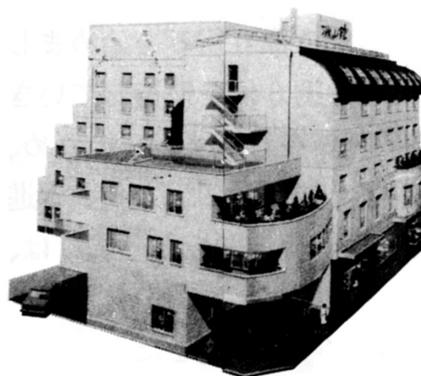
ホテル機山館

代表取締役 重本 康成
(昭和48年卒)

株式会社 機山館
〒113-0033
東京都文京区本郷4-37-20
TEL (03) 3812-1211(代)
FAX (03) 3816-1218



最新の設備を整えた宴会室。
大小5つの部屋(5名~150名収容)をご用意。
照明、音響など、どれをとっても重厚かつ格調ある空間づくりです。
会議室としてもご利用いただけます。



地下鉄丸の内線・大江戸線本郷三丁目駅より徒歩2分 本郷三丁目交差点角交番横入

男女共学3年目

崇徳学園理事長 **奥田 耕造** (昭和40年卒)

同窓会の皆様におかれましてはコロナ禍を如何お過ごしでしょうか。年齢を問わず幅広い世代で増え続けているコロナ感染が大変心配です。広島県も千人の大台を超える日が続き崇徳学園も緊張の毎日です。

男女共学3年目になり皆さんが承知している日常と随分と様変わりしました。先ずは黒い詰襟の学生服から最新のモダンな制服になり学園が華やかで明るくなりました。課外活動の各クラブでも女子部員、女子マネージャー希望者が増えて今までに無い対応に慎重に取り組んでいます。授業中もザワツキが少なくなり真剣な顔つきが目立つ様になりました。来年春の卒業生の進路指導結果が学園の評価に繋がる為進路指導部の先生方も日々努力し生徒指導を行っています。緊急事態宣言は解除されましたが未だ学園生活に制限や制約が有る為先生の指導の下学生たちは頑張っています。

最後になりますが同窓会会員相互の交流や親睦活動が活発になります様にそして会員皆様の健勝と発展を心より祈念申し上げます。

未来に向かってチャレンジ

崇徳中学校・高等学校 校長 **松尾 耕司** (昭和58年卒)

4月から崇徳中学校・高等学校第14代校長を拝命いたしました松尾 耕司と申します。昭和58年に本校を卒業し、昭和63年より国語科の教員として採用されて、本学園での教師生活が34年目を迎えました。147年の長きにわたり、国内外に有為な人材を輩出してきた伝統のある本学園の校長を拝命したことの責任を感じているところであります。

さて、同窓生の皆さまにおかれましては、日ごろより、本校教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。今年度は、中学校35名(男子22名・女子13名)、高等学校471名(男子293名・女子178名)の新入生を迎え、在籍生徒1750名(高校1624名・中学126名)でスタートしました。高等学校においては、男女共学3年目を迎えて、学園の雰囲気も大きく変わりつつあります。建学の精神「崇徳興仁 務修礼讓」の教えを守り、教育活動に精進していきたい所存でございます。

本校の教育目的につきましては、昨年度絹谷前校長より引き継いだ「Sotoku Prideをもって、未来を生き抜くことのできる生徒を育成する」を掲げています。それは、自分の考えで何事にも主体的に行動し、他者をリスペクトできるしなやかな心を持つこと。さらに、過去に学び、現在を知り、未来を考える手法を学ぶことと定義しています。目的の定義を明確化したうえで、必要な能力を教育目標に設定しております。

教育目標の『崇徳学園 Graduation Policy (崇徳 GP)』は、どのような生徒を育てたいかという目標の実現に必要なものとして8つの力(思考力・自己肯定力・発信力・行動力・コミュニケーション力・協働力・分析力・創造力)を掲げ、それを「崇徳 GP」として謳っています。教育目標を「育成したい力」にまで読み下したことで、目標が具現性を帯び、皆が理解し、常に意識することができるのではないかと考えています。

昨年度におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、たくさんの行事が中止や規模縮小をせざるを得ない状況となりました。生徒にとってはかけがえのない貴重な学校生活ですが、残念ながら多くのことが犠牲となり、失われることになりました。新型コロナウイルス感染症との戦いは、これからも続くことと考えています。生徒の皆が、安全で安心できる環境設定を提供し、生徒たちが「未来に向かってチャレンジ」できるよう、明るい学園を目指していきたい所存でございます。

以下、昨年度の実績をご報告いたします。

●進路実績 卒業生346名(進学329名 就職3名 未決定者14名)

2021年度の本校の進路状況は、進路決定率96%で、前年度より5ポイントUPの高水準となりました。進路未決定者は4%で、強い現役志向が伺えます。

国公立大学66名(神戸大学1名、筑波大学1名、広島大学12名、山口大学13名 等)

私立大学588名(関関同立72名「同志社10名・立命39名・関大12名・関学11名」、龍谷大学45名 等)

地元大学(広島修道大学56名、広島工業大学110名、広島経済大学36名、広島国際大学23名 等)

上記には、過年度生を含んでいます。

●クラブ活動（全国大会出場及び入賞）実績

昨年度は、国民体育大会は中止となりましたが、その他の全国大会はほぼ予定通りの開催となり、本校からも数多くのクラブ、選手の皆が全国で羽ばたいた姿を見せてくれました。

これも、日々の精進の結果であると思います。選手の皆には、支えていただいた家族、指導者、仲間など感謝の気持ちを忘れず、今後さらなる飛躍を期待しています。

運動部

〈中学校〉

◎柔道部

第52回全国中学校柔道大会

- ・個人の部 90 kg超級 中祖 俊輔 第5位
- ・団体の部 出場

◎剣道部

第52回全国中学校剣道大会

- ・個人の部 松原 伊吹 出場
- ・団体の部 出場

〈高等学校〉

◎柔道部

令和3年度全国高等学校総合体育大会

- ・個人の部 100 kg超級 藤本 偉央 第2位
- ・団体の部 出場

◎バレーボール部

令和3年度全国高等学校総合体育大会

- ・ベスト16

第74回全日本バレーボール全国高等学校選手権大会

- ・ベスト8

◎体操競技部

令和3年度全国高等学校総合体育大会

- ・団体の部、個人の部 出場

第38回全国高等学校体操競技選抜大会

- ・個人の部 川野 純茂 術上

◎ボクシング部

令和3年度全国高等学校総合体育大会

- ・個人の部 ライト級 宮崎 栞 第2位

令和3年度全国高等学校ボクシング選抜大会

- ・個人の部 ライト級 宮崎 栞 第3位

◎自転車競技部

令和3年度全国高等学校総合体育大会

- ・個人の部 ケイリン 田村 一暉 第1位
- ロードレース 田村 一暉 第5位

令和3年度全国高等学校自転車競技大会

- ・個人の部 出場

◎アメリカンフットボール部

第73回全国高等学校アメリカンフットボール大会

- ・出場

◎令和3年度全国高等学校総合体育大会

- ・個人の部 出場



制服



野球部 己斐上グラウンド

文化部

〈高等学校〉

◎新聞部

第44回全国高等学校総合文化祭

・新聞部門 最優秀賞

最後になりますが、本校の建学の精神はどのように環境が変わろうとも普遍的なものであり、人生の道標になるものと信じております。この建学の精神を礎として、私立学校としての存在意識を高め、生徒、保護者や地域の方がたのご期待に沿えるよう教職員一丸となって学校教育を進めてまいります。同窓会のますますのご発展とご健勝を心から願っております。

令和3年度の取り組みと今後についての報告!!

崇徳学園同窓会会長 松田 宜久 (昭和61年卒)

母校同窓会関東支部の皆様、平素は同窓会活動に何かとご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。この2年間コロナ禍のため、私達が望むような同窓会活動ができませんでしたが、わが国の感染症対策が進んでいることから、少しずつ同窓会活動を再開できる日が近づいていることを感じています。

昨年度ならびに本年度の取り組みをご報告させていただきます。

- 1つ目は 体育館の渡り廊下にテーブル椅子・パラソルがセットになったものを1セット寄贈（学校1セット購入・PTA1セット寄贈）計3つ設置
- 2つ目は 同窓会奨学金5名のところを今回新入生が増えた事により7名にて募る
- 3つ目は 崇徳学園同窓会公認キャラクターコンテストの実施しキャラクター部門・ネーミング部門 ネーミング部門募集し決定。

本年度は令和3年8月に会員名簿を発行し、会員の皆様の住所を整備することができた為、21000部程度同窓の皆様へ会報（同窓会だより）をお送り致します。次年度以降も出来る限り皆様へ会報をお届けすることを継続したいため、活動支援金をお願いをさせていただきます。総会・懇親会は9月10日に開催予定。令和7年には創立150周年を迎えます。

コロナの中、幹事会は同窓会の活動を止めてはならないと試行錯誤を重ね、アイデアを出し合いながら前向きに取り組んでいきたいと思っております。

今年度は男女共学3年目、高校では471名の新入生を迎える事となりました。

本学園同窓会は「徳を尊び、思いやりの心を起こす」という「崇徳興仁」の精神で、歴代の会長、役員の方々が築いてこられた「顔の見える同窓会」として、学園主要行事への参加や毎年恒例となった崇徳祭の出店に加え、PTA役員との懇親会を開催しながら今後の後輩達の活躍に支援していきたいと存じます。

私自身、社会に出て様々な場面で「崇徳出身なのか」から始まり崇徳を縁とする結びつきの出会いをいただき同窓であればこそ喜びを沢山実感させていただきました。

崇徳学園出身同士、クラブ・職域・学年・商売等で関係を親密にし、こういう時だからこそ同窓生同士の交誼を厚くして絆をもっともっと深めていただくよう願っています。

より一層広がる同窓の輪を目指し皆様方からのご意見やご要望をできる限り同窓会に反映させ、後輩達の今後の活躍を支援してまいりたいと存じます。

関東支部の皆様の今後のご多幸を祈念しご挨拶とさせていただきます。

アメリカンフットボール部近況報告

顧問 久保 健太

アメリカンフットボール部は現在、3年生7名、2年生5名（うちマネージャー1名）1年生7名（うちマネージャー1名）の計19名で活動しています。

昨年度も、続くコロナ禍により、多くのイベントが中止となりました。しかしながら、第52回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会出場に加え、強化合宿として、京都の龍谷大平安高校アメリカンフットボール部との合同練習を行うなど、出来る限りの活動を模索した年でもありました。

今年度は、ありがたいことに7名の新人部員を迎え、小規模ながら活気と熱意あるチームを繋ぐことができました。日々の練習では、競技力・忍耐力の向上だけでなく、礼節、謙虚さ、感謝の気持ち、自他を尊重できる豊かな心を培えるよう精進していきます。

弓道部近況報告

顧問 山本 高基

弓道部は、3年生が男子8人、2年生が男子18人と女子19人で、更に1年生も4月の段階で20人近く入部し、本館7階の弓道場でとても賑やかに活動をしています。男子は、2021年度の全国選抜大会に団体・個人で出場し、国体広島県代表へ選出される生徒や、県大会で2連覇を達成する生徒など、チームとしても個人としても活躍しています。また、女子も試合に初出場の選手もいる中で挑んだ4月の県大会で、中国大会出場まであと一步に迫るなど、新しい時代と伝統を作り出そうとしています。

部員数も多くなるなかで、練習時間も短縮しており、今までとは異なる練習環境となっていますが、これからも弓道の技術だけでなく、人間面での成長につながるよう活動していきたいと考えています。

写真部近況報告

顧問 岩田 行展（平成10年卒）

写真を撮るという活動の多くは、屋外がメインであり、四季折々の植物やその土地ならではの行事などを、カメラ片手に訪ね思いのままに切り取ることに楽しみがあります。しかしながら、2年前から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響もあって、なかなか思うままに活動ができない（行動範囲が縮小される）日々が続く、部活動としてみんなで一緒に写真を撮ることはおろか、写真を撮ること自体が難しい危機的な状況が続いています。

そういう状況のなかでも、写真部は現在、中学生が5名、高校1年生が11名、2年生が12名、3年生が11名の計39名と、男女共学を契機に部員数が大幅に増え、数年前とは違った写真部の雰囲気ができつつあり、部員同士で共通のテーマを選んで撮影したり、互いに作品を品評したりと、非常に活動（部員同士の交流）が盛んになってきたことはこれからの楽しみでもあります。

入賞実績としては、広島県新人写真大会にて一席（県1位相当）と三席（県ベスト8相当）を受賞、また『ひろしま県議会だより』第66号と第67号の表紙の写真に2期連続で採用されるなど、多くの高い評価を受けることができました。今後も部員一同楽しみながら、切磋琢磨して、技術の向上と全国大会出場を目指していきたいと思えます。

ESS 部近況報告

顧問 Ewen Ferguson（読 ユエン・ファーガソン）

ESS 部は2022 現在、3年生7名、2年生23名、1年生9名の39 計名で活動しています。ESS は、English Speaking Society の略で＜英会話を話す会＞という意味です。

2022/23 年度の校内活動は新しい形で行います。男女教育が進む崇徳学園では、入部した人数が多くなって、新しく部活参加が毎週月・木になりました。火・水曜日は EIKEN の個人練習の日です。金曜日は高校の休みですが8 時間目から下校までは個人予約も可能です。土曜日・日曜日は他用の日になっています。

英語は現世界の共通語で、学校外でも日本の文化を含め、世界の多様な文化と触れ合ったり、＜読む・書く・聞く・話す＞の4 技能をさらに強化したりします。

ESS 部の標語は＜Care For Myself, Others, Nature＞（自分をいつくしみ、他者をいつくしみ、自然をいつくしむ）ですが本部の Mission は Broaden Your Horizons, Improve Your English, Make Friends（視野を広げ、英語を磨き、楽しい仲間づくりを！）となっています。例年通りはこの二つをクラブ活動の前提にして幅広いプログラムにも参加したりしています。

放送部近況報告

顧問 谷澤 彩乃

2021 年度から新設された放送部は現在中学生 5 名、高校生 12 名の計 17 名で活動しています。主な活動として、週 2 回、昼休みの校内放送を行っています。各パーソナリティ別にテーマを決め、原稿作成からリハーサル、音響などを行っています。「先生紹介」「クラブ紹介」「クイズ」「お便りコーナー」など校内の生徒に興味を持って聞いてもらえるよう創意工夫して放送しています。またコンクールへの出場や学校行事（文化祭・オープンスクール）での司会や動画作成も経験しました。

また、JR 広島駅の構内でマナー啓発等の放送をさせていただくことになり、駅事務所にて収録をしました。JR 広島駅にて 1 時間に 4 回ほど本校放送部のアナウンスが流れていますので、広島に帰られる際は是非耳を傾けてみてください。

今後も校内の生徒に楽しんでもらえる放送やコンクール等に向け、日々練習を積み重ね、幅広い活動を行えるようになっていきたいです。

卒業からアツという間の 50 年

関東支部副会長 幸田 俊三（昭和 44 年卒）

3 年以上にわたり世界中を蔓延のコロナ禍生活の中、西ではロシアのウクライナ侵攻、日本では知床の遊覧船沈没など、暗い悲しいニュースが続いています。

これらの犠牲者様には謹んでお悔やみを申し上げます。

私は昭和 44 年卒で早や半世紀以上を広島から離れ、東京を主体に過ごしてまいりました。

大学に入った当時は、崇徳高校が全国的に知名度があったことを思い出します。

特にバレーボール部（米田君、太田君）、柔道部（川口君）、陸上競技部（川崎君）等と同クラスに多数在籍し、大いにスポーツで湧かせてくれた思い出が強烈に有ります。

また、歴代の卒業生がオリンピック選手やプロ野球選手として「崇徳出身」を世界中に知らしめる活躍をしてくれたことは、私自身の人生にも活力をもらい奮起させてくれることでした。

社会に出てからは、某商社で食品材料の輸入・内販で過ごしてまいりましたが、現在のような厳しい時代では無かったため何とか楽しい社会人生活を過ごせたように思います。

社会人 2 年目には丸の内の三菱重工爆破事件に 1 ブロック隣で遭遇、大阪支社時代は、西宮で阪神淡路大震災に遭遇したりと先が思いやられると感じたこともありました。

「健康に留意して」という文句は頭にはあるものの、毎晩、毎晩の仕事にかこつけた飲酒、練習もしない付き合いゴルフと健康には不真面目な人生であったような気がします。

都合よく、早期優退制度時代の終焉を 51 歳で迎え、即退社、退職後は同年代で早く逝去をされた数人を目のあたりにし、健康を考えるようになりました。しかし、運動音痴の私には偶のゴルフくらいしか無く、何かスポーツを真面目に取り組もうと思っていたところに、近所に、Round 1 が開店し、4 年前の 67 歳からボウリングにのめり込む日々を送るようになりました。60 歳から 80 歳のマイボウラーも数多く活躍しておられ、高齢者でも適度な運動としてお勧めできるスポーツなのかもしれません。おかげで健康診断もほとんどの数値が改善されました。

Round 1 所属で九州地区担当の前秀征プロが崇徳高校出身ですので応援してください。

崇徳関東支部 OB 会には 30 歳代後半に参加させていただきました。幹事になってからは、毎年毎年、工夫を織り込みながら盛り上げ努力をしてまいりましたが、ここ 2 年はコロナの影響で休止しておりますので再開がまちどうしいところです。

関東地方に居住の OB の皆様には是非とも総会に集合していただきたいと思っております。